



59.10
第113号(月間)
TEL 34-2584

市議会議員との懇談会 当会から五つの提案

市議員と当会との懇談会は、九月下旬実施の予定であるが、当会からの提案は、次の五問である。

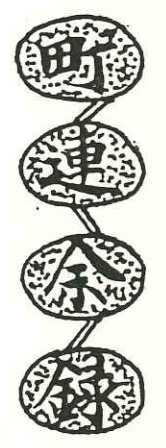
- (一) 公衆街路灯の修理費助成について
本年度の各町会から支出された修理費は(年間)金額二三、八八九、二九〇円(一町会平均八五、〇〇〇円)これへの助成を検討していただきたい。
- (二) 冠婚葬祭の合理化促進について
市議会として本運動促進の意志表示を検討してほしい。
- (三) ゴミ収集方法の将来について
現在は市直営が主で、一部民間委託であるが、全面的に民間委託にした場合、自治体直営にくらべ、1.2又は1.3の経費ですむという。将来、漸次民間委託に切りかえ地場産業の少い民間に活力を与え、市は処理場の管理や民間業者の指導に力をそそぐようにしてはどうか。労働組合の反対も考えられるが、ひと握りの者が、自己の安住と非能率を守る組合エゴと受けとられ、市民感情とは大きいズレがあるものと思う。将来効率的な運営をめざし、全面的に民間委託にしてはどうか。
- (四) 「議会だより」に発言者名記入を
市で発行している「議会だより」は市民として、議事内容や個々の議員の主張や意見を知る上において非常に参考になるが、誰がどのような発言したかが市民にわかるように発言者の氏名を明記してほしい。
- (五) 議員定数の削減について
行革の線に添い、全国的にも減員条例を設けて、定数削減をしている市町村が多く(八六、八%)青森県内の各都市も殆ど減員しているが、青森市だけが減員していない。(定員四四名)

市名	青森	弘前	八戸	黒石	五所川原	十和田	三沢	むつ
減数	0	4	4	10	12	12	4	4

青森市の場合、行革の趣旨に添い予算の減額、職員の削除等努力しているようであるが、議会機能の低下を招かない限り議員の定数を削減する努力をしてはどうか。

墓碑銘

故常盤町々会長中村正雄殿(六十二歳)
八月二十五日死去、八月二十九日葬儀(於常光寺)
三十数年国鉄職員としてつとめ、停年退職後は、第二十五区社会福祉協議会長や保護司(青森地区)などをつとめたりなどで、世話好きな一面、几帳面な性格で、新町商店街振興会の事務局長をつとめておられた。酒は大好きで、そのためか肝臓などやられたようだが、八月十七日午後、当事務所へみえた時は、元気に私達と歓談しておったのだが、突然の訃報にびっくりした。
心からご冥福を祈ります
合掌



町会長の職業しらべ トップは無職

69・6調査

職業別	説明	人員
自営業		七二名
会社員	役員、社長含む	六五名
団体	役員、特別職を含む	二〇名
公務員	地方、国家含む	一三名
農業		四八名
無職		七四名
計		二九二名

○無職は停年退職等により現職を
退任された人が多い。

町会長の年齢しらべ トップは六十才台

年台	説明	人員
30才未満		〇
30才台	30~39才	六名
40才台	40~49才	二五名
50才台	50~59才	八三名
60才台	60~69才	二五名
70才台	70~79才	五〇名
80才台	80才以上	三名

○町会長数 341名中、回答者 292名
回答率 85%

直営と民間委託の経費の差 三教授の意見

(都市経営総合研究所長、坂田期雄、東洋大学教授)
ゴミ収集や学校給食、学校警備等は直営から民間委託パートに切替えた場合、通常コストは1.2から1.3になる。文化、スポーツ、福祉等の施設は建設は行政で行っても管理は民間にまかせるとコストは通常半分以下になる。自治体では「カネ」がないとよくいわれるが、カネがないのではなく、二倍も三倍も高い買物(直営)をしているからである。

(慶応義塾大学教授 加藤 寛)
政府に任せず民間にやらせた方がよいケースは山ほどある。一例をあげると、牛の畜舎、これを補助率七〇%の補助金をもらって建てると、二、〇〇〇万円かかる。ところが補助金なしで建てると、一、〇〇〇万円で出来てしまう。この理由は何かというと、補助金をもらうと、いろいろ基準あってそれに従って建てねばならないが、それが人間の住む家の基準になっているため、畜舎に馬鹿々々しいカネがかかるのである。

(地方自治研究資料センター所長 加藤富子)
一人暮らし老人の家事手伝いの場合
家政婦協会派遣の場合 一時間大体一、〇〇〇円かかる
常勤公務員派遣の場合 一時間平均五、〇〇〇円かかる
ゴミ収集の場合、直営は民間委託の三倍経費がかかる
自治体の管理者はコスト意識が低い
(以上、論説要約)

ジェット機の白き尾のこる
高き碧 (K)

